

2024年度中川まちづくり活動方針

改定活動方針	地域主担当	行政担当
1. 緑地・緑道の魅力アップ (1) くさぶえのみち再整備までに、急を要する問題箇所は、随時土木事務所に改善依頼を行う。	(1) くさぶえのみち愛護会	(1) 土木事務所
(2) 山崎公園と牛久保公園、烏山公園里山保全管理計画については、2024年度計画を地域で応援していく。	(2) 牛久保公園愛護会 烏山公園愛護会	(2) 土木事務所
(3) 公園、緑道の美化、保全に、愛護会を中心に地域住民が参加していく。	(3) 各愛護会	(3) 土木事務所
2. 早瀬川の魅力アップ (1) 早瀬川・老馬谷ガーデン(HRG) ・地域緑のまちづくり事業2024年度計画を推進する。 (2) 早瀬川河川管理道路 ・交通安全と地域まちづくりの観点で関係者による検討会実施	(1) HRG運営会/中川つなぐ会 (2) ぐるっと緑道	(1) 区政推進課 (2) 区政推進課
3. 駅前商業地区のバリアフリーを検討していく (1) 高齢者、子どもに優しいベンチ配置の見直しを行う (2) 中川駅前広場とケアプラ前の歩専路のブロック浮きをチェックしていく	(1) (2) ぐるっと緑道 中川駅前商業地区振興会	(1) (2) 土木事務所
4. 歩行者・自転車の安全 (1) 自転車交通安全ルールを知る、守ることが重要である。行政、学校、町内会等が協力し、ルールのPR、教育を行う。 ① 「自転車安全運転マナーのまち」としてPR活動を行う。	(1) 自転車対策委員会 ・町内会/自治会 ・中川駅前商業地区振興会 ・学校、PTA、おやじの会	(1) 土木事務所 都筑警察署
(2) 小学校スクールゾーン委員会と連携していく。	(2) 小学校/PTA 中川西町内会 牛久保町内会 牛久保西町内会	(2) 土木事務所 都筑警察署
(3) 山崎公園運動広場横の園路 ・区役所は公園利用の原則を近隣に説明し、掲示などにより走行禁止の押し歩きを徹底する。 ・牛久保中川線（中川駅～センター北）の道路/歩道の自転車通行の実情、課題を調査する。 上記2点の効果と課題を明確にした上で、連絡会から提案のあった自転車走行推奨路（中川西小⇒山崎公園⇒都筑小）の設定が課題改善に繋がるか調査検討を行う。	(3) 自転車対策委員会 ・山崎公園愛護会	(3) 土木事務所
5. 都筑らしい文化の醸成 ・地域が協力する交流イベントを継続する。 ・イベント情報の地域共有化	全団体	地域振興課
6. 地域活動の担い手を増やす (1) 地域の様々な団体が連携協力し、情報を発信し、地域活動のすそ野を広げていく。 ① 愛護会が集まって、次代の担い手を増やすをテーマに意見交換会を行う。	(1) 全団体 ① 愛護会 ぐるっと緑道（開催）	(1) 地域振興課 ① 土木事務所
(2) 保育園、幼稚園、小学校の親子、中学校、都市大学との連携により、若い参加者を増やしていく。	(2) 全団体	(2) 地域振興課
(3) 都市大学/学生組織と地域の協業関係を更に発展させる。 ① 愛護会と都市大学生連合会による、連携協力の話し合いを行う。	(3) 都市大 全団体 ① 都市大 愛護会 ぐるっと緑道（開催）	① 土木事務所
7. 中川駅前商業地区の活性化 ① 商業地区振興会の活動を応援、連携していく。 ② 花と緑のまちづくり(NRP)による商業地区の魅力を継続していく。	① 全団体 ② NRP 振興会	① 地域振興課 ② 土木事務所 地域振興課
8. 中川1-4丁目の地域緑のまちづくり ・2024年度計画の確実な推進	中川つなぐ会	区政推進課 土木事務所

<p>9. ハウスクエア横浜の解散に伴う跡地問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり連絡会で特別委員会を発足させ検討を行う。 (中川西町内会、振興会、ぐるっと緑道) ・地域まちづくりとして地域の希望、意見をまとめる。 ・横浜市と協力し、地域の希望意見を基に地権者と協議していく。 	<p>特別委員会</p>	<p>区政推進課</p>
<p>10. まちづくりプラン/まちづくり連絡会のレビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間のまちづくりプラン/まちづくり連絡会の活動をレビューする ・今後のまちづくりプランのあり方を検討する 	<p>ぐるっと緑道 後藤研究室</p>	<p>区政推進課</p>